

『合併後の予防接種について』

3月21日の新潟市との合併後、現在あるサービスで提供の形が変わって来るものがあります。これから最終号までは、合併後に変わるサービスについて特集でお知らせしていきます。

予防接種とは

お母さんが赤ちゃんにブレントした病気に対する抵抗力(免疫)は生後3か月を過ぎると徐々に失われていきます。

そのため、赤ちゃん自身で免疫をつくって病気や重症化を防ぐのに予防接種が必要になってきます。

現在、法律で強制する義務接種は行っていますが、努力義務がうたわれています。そのかわり、接種にかかる費用は国が負担し、無償です。

(法定接種のみ)

医療の進んだ現代でも感染症で亡くなる子どもは多いので、必要性を理解し、保護者の責任のもと、接種するよう努力しましょう。

個別接種に変わります

岩室村で行っていた集団接種は合併後、個別接種に変わり(ポリオを除く)、個人が体調・都合のよい日に指定の医療機関で接種していただくこととなります。

そのため、接種対象ごとに郵送していた案内文書の送付はなくなります。今後は、ポリオ(集団接種)については市報及び支所だよりをご覧いただき、対象になりましたら保健センターにお越しください。

個別接種については、お子さんの接種状況を母子健康手帳で保護者が確認し、接種間隔をあげ、接種年齢時期に受診・接種をしましょう。

料金の個人負担はありません

医療機関での個別接種になっても予防接種料金の個人負担はありません。

ただし、接種対象年齢を過ぎると全額個人負担になります。



接種時期・接種間隔をどのように決めるか

予防接種は免疫が失われる生後3か月ごろ、16歳未満まで受けるものがあります。

まず、母子健康手帳を大切に保管しましょう。母子健康手帳には予防接種について記載されているページがあります。接種時期や接種間隔、接種記録をよく確認し、必要な時期

生ワクチン

ポリオ・麻しん・風しん・BCG
 おたふくかぜ(任意接種)・水痘(任意接種)

4週間以上あける

不活化ワクチン

三種混合・二種混合・ジフテリア・破傷風
 日本脳炎・インフルエンザ(任意接種)
 B型肝炎(任意接種)

1週間以上あける

●生きた細菌やウイルスの毒性を弱めたもの。ポリオ、麻しん(はしか)、風しん、BCGなどがこれにあたります。十分な抵抗力(免疫)ができるのに約1か月が必要です。

●細菌やウイルスを殺し抵抗力(免疫)をつくるのに必要な成分を取り出して毒性をなくしてつくったもの。三種混合、二種混合、日本脳炎などがこれにあたります。一定の間隔で2~3回接種し最小限必要な抵抗力をつけたあと、約1年後に追加接種をして十分な抵抗力ができます。しかし、長期間そのままにすると少しずつ抵抗力が減ってしまいますので、それぞれのワクチンによって一定の間隔で追加接種が必要です。

個別接種の予約票は?

個別接種に必要な予約票は、4月以降各指定医療機関に備え付けてあります。また記入してから受診したいなど希望があれば、合併後、岩室村支所福祉保健課の窓口でもお渡しできます(合併後に生まれた子からは出生届時に一括して予約表綴りをお渡しいたします)。

QRコード

合併前に接種対象年齢に当たる子ども全員に①指定医療機関名簿一覧(接種可能病院)②対象年齢・接種間隔表等をお送りする予定です。大切な案内になりますので、



届いたらよくご覧ください。

BCGは生後6か月から

結核予防法により、ツベルクリン検査を実施し、陰性の子にBCG接種を行ってました。

今年の4月より、ツベルクリン検査がなくなり、生後3か月から6か月(予定)の間にBCGを接種するようになりま。

今までは、BCGの接種対象年齢が4歳未満だったので、施行後は生後6か月(予定)を過ぎたお子さんに無料で接種することができなくなります。

岩室村でのBCG接種は今年21日(金)が最終日になります。6か月以上4歳未満のお子さんでまだ接種していない子は、この機会に必ず接種していただく。

相談にいきます

接種日に都合が合わない・体調が悪くて受けられない・何を受けたか忘れた・接種間隔を教えて欲しいなど、合併を前に予防接種に関する質問や相談を受け付けていますので、不明な点がある人は保健センターにご連絡ください。

合併後の予防接種実施方法一覧表

予防接種名	ワクチンの種類	実施方法	望ましい接種年齢	接種対象年齢	接種方法	備考	標準的合計接種回数
BCG	生	個別(予定)	生後3か月以上6か月未満(予定)	生後3か月以上6か月未満(予定)	1回接種する	結核予防法の改正により平成17年4月からツベルクリン反応検査がなくなり、接種対象年齢も変わります。	1
ポリオ(急性灰白髄炎)	生	集団	生後3か月以上1歳半未満	生後3か月以上7歳半未満	6週間以上の間隔をおいて必ず2回受ける。この間隔はいくらあいても良い。	受ける前後30分ぐらい飲食させない。下痢がある場合は受けない。	2
三種混合・DPT [ジフテリア 百日せき 破傷風]	不活化	個別	<1期初回> 生後3か月以上1歳未満	生後3か月以上7歳半未満	1期初回=3~8週の間隔をおいて3回接種する。	百日せきにかかったことが明らかな場合、三種混合は受けず、二種混合を受ける。	4
			<1期追加> 2歳半未満(1期初回完了後1年~1年半)		1期追加=1期初回完了後6か月以上の間隔をおいて1回接種する。		
二種混合・DT [ジフテリア 破傷風]	不活化	個別	<1期追加> 2歳半未満(1期初回完了後1年~1年半)	生後3か月以上7歳半未満	1期初回=4~6週の間隔をおいて2回接種する。	百日せきにかかったことが明らかな場合、三種混合は受けず、二種混合を受ける。	3
			小学校6年生		1期追加=1期初回完了後6か月以上の間隔をおいて1回接種する。		
麻しん(はしか)	生	個別	1歳以上1歳3か月未満	11歳以上13歳未満	1回接種する	三種混合接種者も含め全員が対象となる。	1
風しん(三日はしか)	生	個別	1歳以上3歳未満	1歳以上7歳半未満	1回接種する	麻しん予防接種は、できるだけ早期に受ける。	1
日本脳炎	不活化	個別	<1期初回> 3歳	3歳以上7歳半未満	1期初回=1~4週の間隔をおいて2回接種する。	幼児について行う風しんの予防接種は、麻しんの予防接種の後に受けることを原則とする。	5
			<1期追加> 4歳		1期追加=1期初回完了後概ね1年おいて1回接種する。		
			小学校4年生 中学生(14歳)		2期=1回接種する 3期=1回接種する		

に、必要な予防接種を受けるようにしましょう。

予防接種の接種間隔

予防接種で使う2種類の

ワクチンによって接種間隔が変わります。ワクチン相互の間隔については右表を参考にしてください。